

## 第2章 近代化産業遺産の概況

### 1. 近代化産業遺産の分布

#### ◇近代化産業遺産施設分布整理とその活用視点

- **観光交流まちづくり**  
産業遺産・ヘリテージツーリズムに資する素材や観光交流拠点としての活用
- **知の創造学びの場**  
郷土学（産業、産業技術、文化、歴史、地域そのものを学ぶこと）として創造性豊かに学校教育・生涯学習への活用
- **地域コミュニティ再生**  
憩いやレクリエーション等生活ニーズに基づく地域コミュニティ\*への活用
- **都市計画との連携**  
産業遺産を景観\*資源・歴史文化資源として活用し都市計画フレーム\*への導入
- **協働のまちづくり**  
市民自らの活動や市民と協働のまちづくり活動のシンボルの活用

#### □別子銅山近代化産業遺産の整理

##### ○別子銅山産業遺産（総括）

###### 【近代化産業遺産に含む施設の条件等】

- ・新居浜市に寄贈された施設。
- ・文化財、史跡。
- ・企業管理施設。
- ・現存しない施設。
- ・文化財、近代化産業遺産群 33。

###### 【近代化産業遺産に含まない施設の条件等】

- ・現在企業生産活動している施設は含まない。

→ 図-「別子銅山近代化産業遺産位置図」

##### ○指定、登録文化財による整理

- ・国、県、市指定文化財及び史跡

→ 図-「別子銅山近代化産業遺産文化財位置図」

##### ○愛媛県による近代化遺産調査施設の整理

→ 図-「別子銅山近代化産業遺産愛媛県調査位置図」

別子銅山近代化産業遺産 位置図  
A 3 図面挿入

別子銅山近代化産業遺産文化財 位置図  
A 4 図面挿入

別子銅山近代化産業遺産愛媛県調査 位置図  
A 4 図面挿入

## 2. 近代化産業遺産の市民意識

### ◇近代化産業遺産への市民意識

- 「別子銅山」は「太鼓祭り」と共に市民の誇り
- 「別子銅山」は鉱山遺跡のイメージが強い
- 「別子銅山」に興味がある人は全ての施設や地区を訪問する

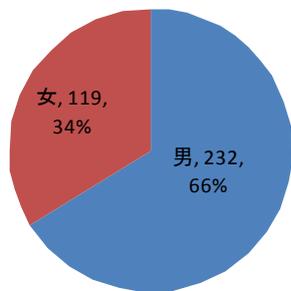
#### (1) 別子銅山近代化産業遺産アンケート調査

##### □調査概要

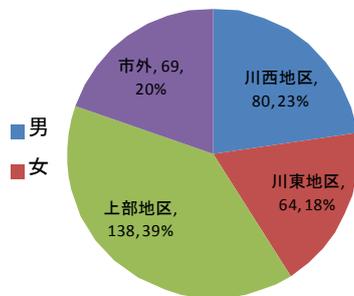
- ・調査時期 平成23年6月～8月
- ・調査場所 環境自治体会議会場、JR新居浜駅90周年イベント会場、市内公共施設等
- ・調査対象 市内でのイベント会場や公共施設来訪者
- ・回収数 351件

##### □回答者の属性

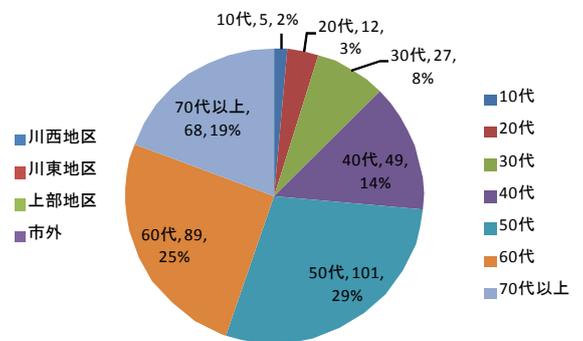
男女構成比 (n=351)



地区構成比 (n=351)



年齢構成比 (n=351)



	川西地区	川東地区	上部地区	市外	合計
男	57	51	85	39	232
女	23	13	53	30	119
合計	80	64	138	69	351

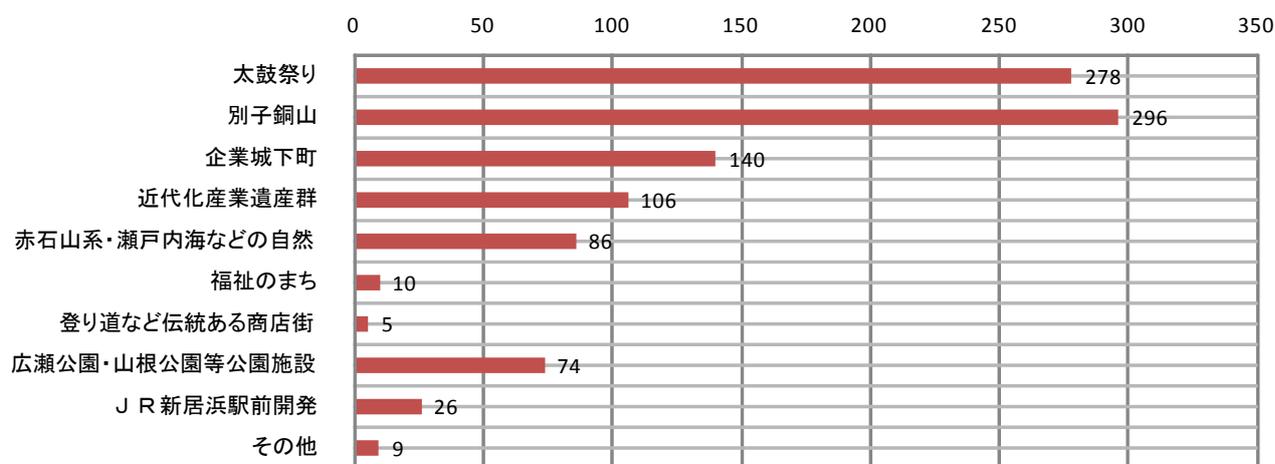
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
男	2	4	19	39	80	48	40	232
女	3	8	8	10	21	41	28	119
合計	5	12	27	49	101	89	68	351

## □調査結果

### ○新居浜らしさのイメージ（複数回答）

新居浜らしさのイメージ（1030件）は「別子銅山」が296件、次いで「太鼓まつり」278件、「企業城下町」140件と続いています。「別子銅山」と「太鼓祭り」が新居浜のイメージの上位になっています。近代化産業遺産関連のイメージは「別子銅山」296件と「近代化産業遺産群」106件で合わせて402件となっています。

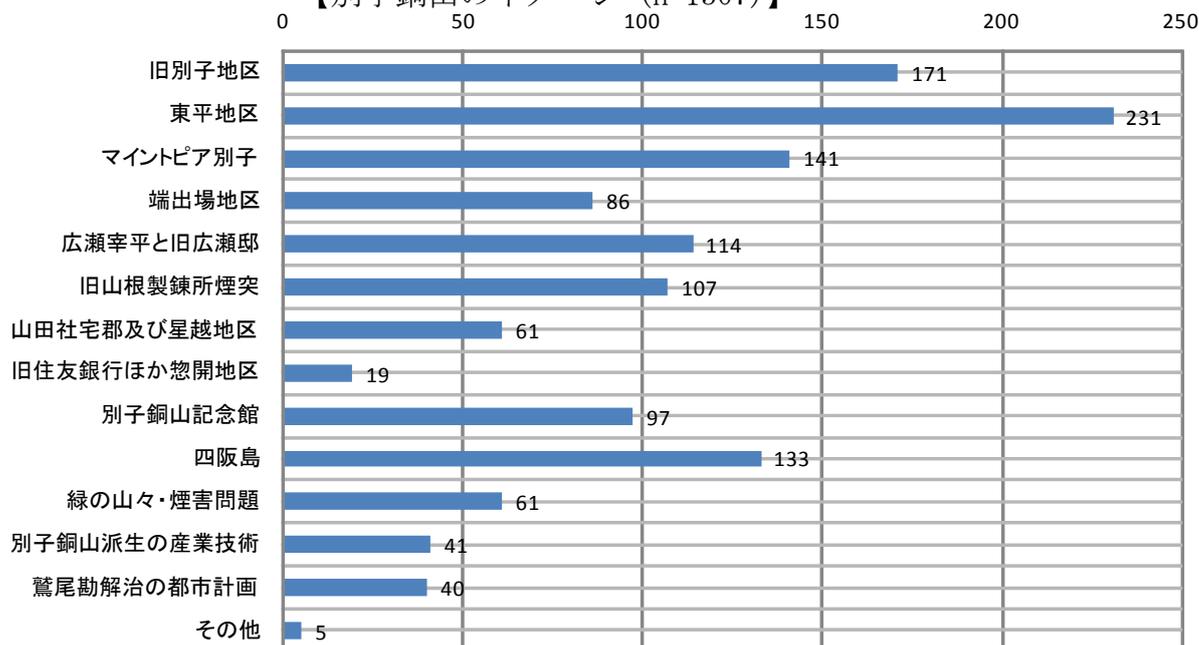
【新居浜らしさ（n=1030）】



### ○別子銅山のイメージ（複数回答）

別子銅山のイメージ（1307件）は「東平地区」231件、次いで「旧別子地区」171件、「マイントピア別子」141件と続いています。別子銅山のイメージとしては「東平地区」のイメージが強い結果となっています。

【別子銅山のイメージ（n=1307）】

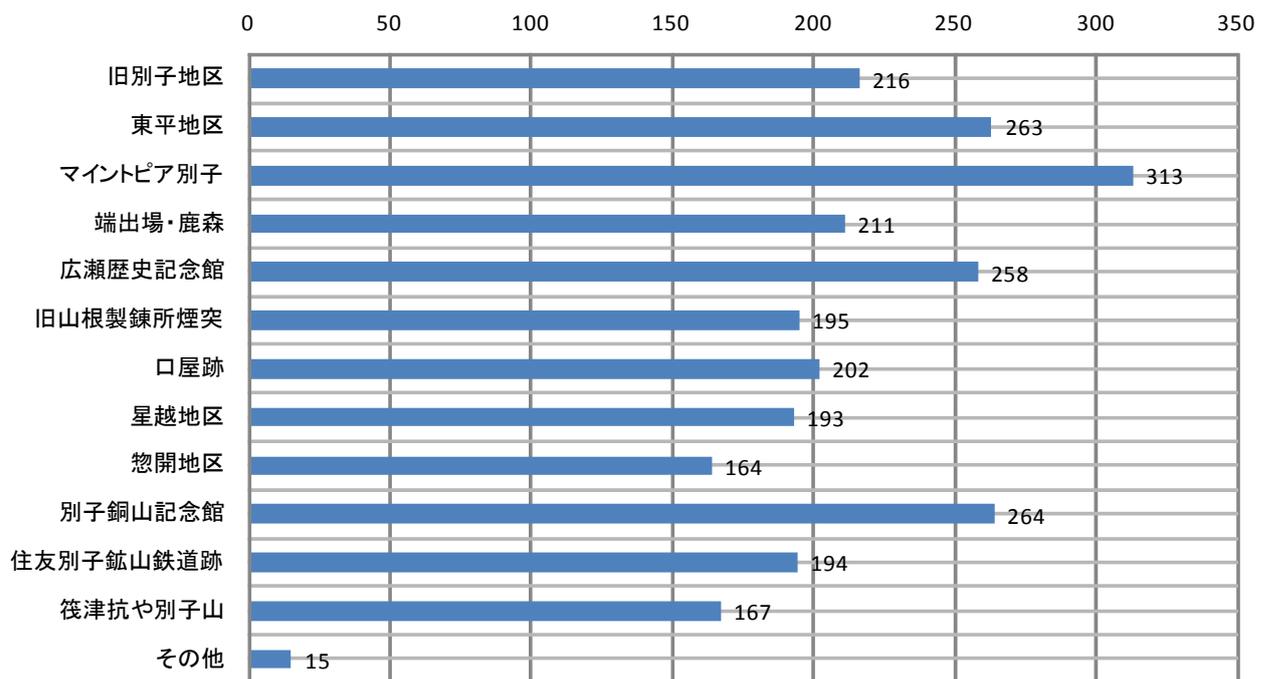


### ○別子銅山近代化産業遺産の訪れた場所（複数回答）

別子銅山近代化産業遺産の訪れた場所（2655件）は「マイントピア別子」が313件、次いで「別子銅山記念館」264件「東平地区」263件とほぼ同じで、「広瀬歴史記念館」258件と続いています。

別子銅山産業遺産の訪れた場所としては博物館施設が上位になっています。

【別子銅山産業遺産の訪れた場所（n=2655）】



## (2) 新居浜市内小中学校アンケート調査

### □調査概要

- ・調査時期 平成 19 年 7 月 19 日
- ・調査対象 市内小学校 17 校（大島小、わかば分教室なし）  
市内中学校 8 校（泉川中、船木中、船木分校、角野中なし）
- ・回収数 25 校
- ・調査者 新居浜生涯学習大学実施

### □設問

新居浜市内で残したい伝統行事、産業遺産、その他文化遺産等ベスト 10 まで挙げてください。

※各学校で先生が生徒に聞いてベスト 10 まで挙げる。

### □結果

市内 25 校の小中学生対象に「市内で残したい伝統行事、産業遺産、その他文化遺産等ベスト 10」を実施したアンケート結果は「太鼓祭り」23 件、次いで「旧別子銅山（旧別子）」「えんとつ山（山根公園）」が 14 件と同数回答、「マイントピア別子」13 件と続いています。「太鼓祭り」が最多回答数となっていますが、別子銅山近代化産業遺産に関する項目の回答数も増えています。

場 所	票 数	場 所	票 数
太鼓祭り	23	塩田関係	4
旧別子銅山（旧別子）	14	鉱山鉄道跡	4
えんとつ山（山根公園）	14	東平	3
マイントピア別子	13	市民プール	3
一宮神社（楠の木）	12	高柳泉	3
瑞応寺	11	少女郎狸伝説	3
広瀬公園	10	武徳殿	3
滝の宮公園	8	垣生海水浴場	3
吉岡泉	8	ゆらぎの森	3
科学博物館	7	四阪島製錬所跡	2
広瀬邸	7	グリーンフィールド	2
とうど祭り	6	星越選鉱場	2
マリンパーク	6	別子銅山記念図書館	2
花火大会	6	山田社宅	2
口屋跡（あかがねの松）	6	金子山古墳	2
別子ライン	5	[その他] かぶと踊り、星越駅舎等	34
別子銅山記念館	5		
八幡神社	5		

### (3) 別子銅山近代化産業遺産アンケート調査

#### □調査概要

- ・調査時期 平成 21 年 9 月
- ・調査対象 全国にいほま倶楽部会員
- ・回収率 配布 255 回収 82 回収率 32.2%
- ・調査者 総合政策課（第五次新居浜市長期総合計画策定時調査）

#### □設問

新居浜市のイメージ。新居浜市内にあなたが自慢したい場所や、観光客などに訪れて欲しい場所。

※任意数回答。

#### □結果

アンケート結果より、新居浜市内で自慢したい場所や観光客などに訪れてほしい場所については「太鼓祭り」20件、次いで「別子銅山（旧別子）」17件、「マイントピア別子」14件と続いています。「太鼓祭り」が最多回答数となっていますが、別子銅山近代化産業遺産に関する項目の回答数も増えています。

場 所	票 数
太鼓祭り	20
四阪島	3
近代化産業遺産	3
マイントピア	14
別子銅山（旧別子）	17
鉦山跡（東平等）	2
別子銅山記念館	2
別子ライン	5
広瀬公園	3
広瀬歴史記念館	2
瑞応寺	5
一宮神社	3
銅山峰赤石山系	4
海・山等の自然	2
[その他] 山根公園、マリンパーク等	15

### 3. 近代化産業遺産と学校教育

#### ◇学校教育に近代化産業遺産活用への視点

- 別子銅山の歴史文化と地域発展の関係を学び郷土を誇りに思う気持ちを育む
- 別子銅山のまちづくり活用には若年層への普及が創発性を生み裾野を広げる
- 意欲旺盛な子どもたちから地域リーダーとなる人材の発掘と育成する

#### (1) 愛媛県立新居浜南高校 ユネスコ部（旧情報科学部）の取組み

平成 11 年に生徒の発案によって別子銅山を地域紹介のテーマとする「あかがねプロジェクト」が始まった。近代化産業遺産の調査・研究を行い、その学習成果をインターネットで情報発信し、地域と連携して学習ビデオ制作やガイドブックを制作している。また、小・中学生を対象としたワークショップ、一般市民を対象とした生涯学習大学講座への講師を定期的に務め、まちの素晴らしさを伝えるため、観光施設でのボランティアガイド活動に取り組んでいる。

平成 21 年に第 1 回全国高校生観光プランコンテスト「観光甲子園」準グランプリ受賞するなど活動が様々な機関に評価され数多くの表彰を受けている。情報科学部からユネスコ部に変更し活動の視野を広げている。

#### (2) 西中学校の取組み

総合的な学習の時間を利用して、生徒はグループで別子銅山の歴史・新居浜の産業遺産などをテーマとして学習し、地域の人への取材、現地視察、東平自然の家での宿泊体験などを行い、学習成果をパワーポイントにまとめ発表を行っている。

#### (3) 角野小学校の取組み

平成 23 年 8 月に高学年になるにつれ故郷に対する愛着が少なくなるというアンケート結果より、ふるさとのよさを実感させ、いつまでも誇りに思えるようになるような学習の取組みを進め、第 3 回観光・まちづくり教育全国大会での観光長官賞受賞している。

子どもたちは、別子銅山の見学や学習、地域の人からの聞き取り学習などを通じて自分たちのふるさとの良さを認識し、自分たちのアイデアを生かしたカタログやパンフレットなどの作成や見学ツアーなどを考える取組みを行っている。

## 4. 近代化産業遺産評価と活用課題

### (1) 評価

#### ◇一貫した企業経営がなされたため産業遺産施設・史料が保存されている

##### ■ 文化庁の評価（近代遺跡調査報告書-鉱山-平成 14 年）

「一貫して住友の経営であり、明治維新後、洋式製錬所の設置、専用鉄道の敷設、斜坑の開鑿等施設の近代化を図り、足尾銅山に次ぐ我が国有数の銅山となった。施設としては、旧坑口、通洞坑、選鉱場、製錬所、発電所、鉄道等が良好に保存されており、操業当時の鉱山の全体像を理解することができる。」とし、さらに評価点は「住友財閥の根幹事業で、開坑から閉山までの全期間の、生産・輸送・生活などの全ての分野が、一地域の中で変遷した跡が残存し、地域社会との関わりの中で生きている」としています。

#### ◇サステイナブル（持続可能）な環境共生都市の実績

##### ■ 21 世紀の環境問題を先取りした近代化産業遺産

第 2 代住友総理事伊庭貞剛の指導の下、急激な近代化による結果発生した公害問題を解決するため、四阪島へ製錬所を移転し後に完全解決を図った実績と荒廃した別子山に緑を復元するため年間 100 万本を超える植林を行った。また、世界にも類を見ない別子銅山固有の地域と共存共栄する企業理念からかたちづけられた文化価値を見ることができます。

現在、別子山は毎年登山客でにぎわう緑と高山植物に覆われた山々が残され、新居浜市が目指す環境共生都市\*として、真にサステイナブル（持続可能）\*な環境を示しています。

#### ◇まちづくり及び都市計画資源

##### ■ まちづくり資源

えんとつ山は旧山根製錬所煙突が残存され製錬施設から里山へ機能役割を転換し、地域を象徴するシンボルとして地域の人々の記憶に刻まれてきました。このように近代化産業遺産は人の繋がりやにぎわいを生み、地域固有のまちづくり財産であり人々の記憶にも残るランドマーク\*として活用の幅を広げています。

##### ■ 都市計画資源

地方都市において地域固有の歴史文化を尊重した都市計画が望まれる中、近代化産業遺産は地域との社会関係資本\*であることは新居浜築港、昭和通り、社宅街、別子銅山記念図書館や別子銅山記念館等の都市施設が示しています。これらは新居浜の都市基盤ともなり、近代化産業遺産は文化財保存が進み都市景観資源と歴史文化資源として都市計画資源となっています。

## (2) 活用課題

### ◇近代化産業遺産の保存活用

#### ■ 保存活用の対策

近代化産業遺産の多くの文化財的価値を保有しているのは企業であり、生産活動や都市開発で消滅する可能性があります。近代化産業遺産は既に消滅したものが多くあり、現に取り壊しや改修、機能転換に直面しているものもあり、企業の生産活動に直結しているため、その保存活用は極めて難しいと言えます。

近代化産業遺産は所有者や行政のみでは維持管理に対応できかねる面があり、幅広い地域連携対策を講じることや取り壊しをするにあたって最低限記録保存の調査を行う環境を作ることが必要であります。

#### ■ 市民への理解浸透

近代化産業遺産の文化財的価値、郷土教育、都市、産業経済の面での多面的な存在意義について広く市民に理解浸透しているとは言えません。理解層の裾野を広げていく必要があります。また、歴史的文化施設を活かしたまちづくりへの取組みの意義も理解されているとは言えません。それには近代化産業遺産の持つ多様な価値を伝える人材不足や情報伝達に課題があります。

広く市民へ近代化産業遺産の持つ多様な価値への認識不足が、近代化産業遺産の保存活用が進まないことの課題となっています。

#### ■ 維持補修費用

新居浜市を取巻く地方都市の財政状況の改善が見られない中で、新居浜市では近代化産業遺産施設の維持補修にかかる費用の捻出が困難な状況であります。近代化産業遺産施設の寄付や管理委譲を受けた場合においても、老朽化が進んでおり、そのための維持費、安全性確保の補修費の捻出が難しい状況となっています。